

大学図書館の価値と評価

加藤信哉

筑波大学附属図書館

skato@tulips.tsukuba.ac.jp

背景

- リーマンショック以降の経済状況の悪化
大学・大学図書館に対して大きな影響を及ぼしている
- インターネット出現による誤った考え方
インターネット上で全ての情報が入手できる
- 大学図書館に対する疑問
大学図書館に今までのように膨大な資源を使う必要があるか?
- 大学図書館の価値の証明が必要
大学図書館は大学の目的である教育, 研究, 社会貢献に本当に役立っているのか?

英米の大学図書館等の危機意識

- [Oakleaf, Megan. *The Value of Academic Libraries.* ACRL, 2010.](#)

大学図書館の価値についての調査を集めた網羅的な報告書

- [*The Value of Libraries for Research and Researcher.* RIN/RLUK, March 2011.](#)

英国の[研究]図書館が研究者に提供する価値や機関の研究パフォーマンスに対する図書館の貢献についての体系的調査

研究と研究者に対して[研究]図書館の持つ価値の全体マップ(1)

No.	重要なメッセージ	図書館の行動と特性	最終的な便益
1	素晴らしい図書館はトップレベルの研究者の雇用と確保に役立つ	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底したサービス文化 ・しっかりした研究資料 ・誰でもが利用できる研究リソースの目録 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップレベルの研究者の雇用と確保
2	図書館は研究者が研究助成の獲得と研究契約に役立つ	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門知識 ・情報スキルや物事をまとめていく手腕 ・徹底したサービス文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究収入の増加
3	図書館は新しいテクノロジーや学術情報流通の新しいモデルを促進し、活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・研究やコミュニケーションについての専門性 ・徹底したサービス文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的な研究 ・研究者のより高い満足度 ・より質の高い研究
4	機関リポジトリは研究機関の可視性を高め、研究を行っている機関の評判を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・機関リポジトリの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・より質の高い研究 ・研究収入の増加 ・研究成果の潜在的な読者層の増加
5	図書館の外部への関わりが機関全体の活動の改善に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に関わる図書館 ・研究機関の中心としての公平な位置 ・情報スキルや物事をまとめていく手腕 	<ul style="list-style-type: none"> ・より質の高い研究 ・研究収入の増加

研究と研究者に対して[研究]図書館の持つ価値の全体マップ(2)

No.	重要なメッセージ	図書館の行動と特性	最終的な便益
6	図書館の主題スペシャリストが研究部門と連携して活動する	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門知識 ・徹底したサービス文化 ・先を見越した情報スペシャリスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の増大 ・より効率的な研究 ・研究者の満足
7	図書館サービスの価値を強化するため研究者と連携する	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に関わる図書館 ・徹底したサービス文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者の満足 ・より質の高い研究 ・より効率的な研究
8	[図書館の]専用スペースは研究者に対するより優れた研究環境を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性のある物理的スペース ・しっかりした研究資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者のより高い満足度 ・より高い質の研究 ・研究成果の増大
9	質の高い研究コンテンツへの使いがってのよいアクセスは依然として優れた研究の基盤である	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりした研究資料 ・情報スキルや物事をまとめていく手腕 ・高い主題知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的な研究 ・より質の高い研究
10	図書館はアカデミーや学問の価値を物理的に表現したものである	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の故郷としての図書館に対する遺産的認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりやる気のある研究者

図書館評価の方法

- 統計

図書館のインプットとアウトプットを測定(量的)

- パフォーマンス指標

図書館サービスの有効性と費用効率を測定(量的・一部質的)

- 利用者満足度調査

図書館サービスの認識されている質と利用者の印象を測定(質的)

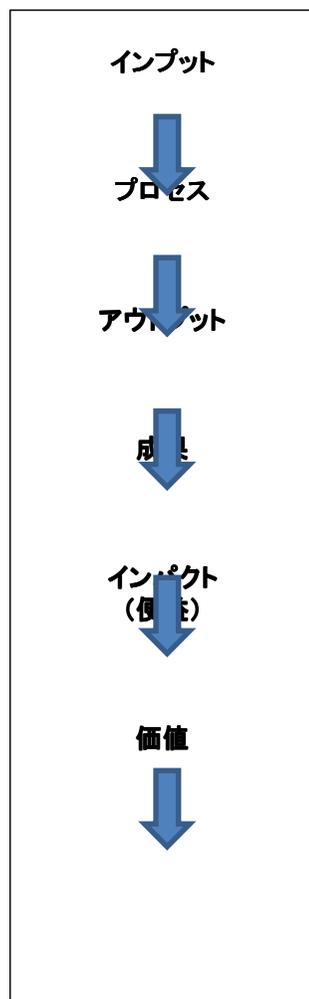
- **インパクト(成果)評価**

個人の利用者や社会に対する便益と価値を示す試み(質的かつ量的)

「統計」から「インパクト評価」へ

- 統計
 - 図書館[利用]人口の規模
 - 利用者ガイダンスへの参加者
- パフォーマンス指標
 - 1人当たりの利用者ガイダンス参加者
- 満足度調査
 - 利用者による5段階でのガイダンス満足度
- **インパクト評価**
 - ガイダンス受講後の情報リテラシースキルの向上度

「インパクト評価」の方法と用語



インプット

図書館の支援におけるリソースの貢献(例:財源, 職員, コレクション, スペース, 什器)

プロセス

インプットをアウトプットに変換する活動(例:目録作業, 貸出, レファレンス・サービス)

アウトプット

図書館プロセスの製品(例:目録作成図書数, 貸出数, 参考質問数)

成果

図書館計画の目標と目的に関連するアウトプットの所定の影響(例:利用者満足度)

インパクト

図書館サービスとの接触によって生じた個人やグループの相違や変更

価値

図書館と結びついているステークホルダーへの重要性

来館やオンラインサービスによって得られる便益は何か？

- 新しいスキルが開発されたか？
- 新しいアイデアや関心が得られたか？
- 図書館は学習をサポートしたか？
- 図書館は研究をサポートしたか？
- 図書館は時間の節約に役立ったか？
- 図書館は試験がうまくいくように役立ったか？
- 図書館は就職がうまくいくように役立ったか？
- 図書館が学習や読書のための安全で静粛な所であることを実感したか？
- 他の人たちとコンタクトが取れたか？

図書館の価値と関連する項目(1)

①学生の入学

- ・入学希望者の募集
- ・入学許可者の入学
- ・在校生への提案

②学生の在籍と卒業

- ・年間在籍 (Fall-to-fall retention)
- ・卒業率

③学生の成功 (Student Success)

- ・インターンシップの成功
- ・就職あっせん
- ・職務の給料
- ・大学院への合格
- ・市場性のあるスキル

図書館の価値と関連する項目(2)

④学生の成績

- ・GPA
- ・専門／教育試験成績

⑤学生の学習

- ・学習アセスメント
- ・教員の判定

⑥学生の経験, 態度及び質の知覚(Perception of Quality)

- ・エンゲージメント調査自己報告(Self-report engagement studies)
- ・4年生／卒業生調査
- ・支援調査(Help surveys)
- ・卒業生からの寄付

⑦教員の研究生産性

- ・出版物の点数, 特許の件数, 技術移転の価値
- ・テニユア／昇進の判定

図書館の価値と関連項目(3)

⑧教員の助成金

- ・助成金提案書の件数(交付／非交付)
- ・交付された助成金の価値

⑨教員の授業

- ・図書館資源及びサービスの授業のシラバス, ウェブサイト, 講義, 実験, 教科書, テキスト, 指定図書等の統合
- ・教員と図書館員の連携: 共同カリキュラム, 課題あるいはアセスメントの設計

⑩機関の評判

- ・教員の雇用
- ・機関のランキング
- ・コミュニティとの提携

既往の研究

- 高等教育における図書館利用と学部学生の成績の相関を調査したもの
- 図書館利用と教員の研究成果の関連について検討したもの (ROI: Return of Investment)
 - Tenopir et al (2010)
 - Luther (2008)
 - Tenopir and Volentine (2012)

英国8大学

- 大学を越えても図書館活動データと学生の卒業成績には統計上、有意な相関があるか？
 - ハッターフィールド大学ではJISC(英国合同情報システム委員会)から助成を受け2011年2月から7月にかけて「図書館インパクト・データ・プロジェクト」を実施した。
 - 8大学33,074人の学部学生の卒業成績について電子リソースの利用、貸出統計、入館統計を測定した。
 - **図書館リソースの利用と卒業成績のレベルには統計上有意な関連があることが示されたが、図書館利用と学生の卒業成績に因果関係は見出せなかった。**

出典: Stone, Graham, Ramsden, Bryony. Library Impact Data Project. *College & Research Libraries*. Vol.74 No.6, 2013. p.546-559.

ARL加盟館

- 大学図書館が学生の持続性 (Student Persistence) にどのようなインパクトを与えるか?
 - 伝統的な図書館のインプット・アウトプット指標である職員, コレクション, 利用, サービスとARL加盟館99館の在籍率と6年での卒業率の関連について調査する。
 - 全日制の学生に対する図書館専門職の割合が学生の在籍と卒業率に統計的に著しい相関があることを示した。

出典: Emmons, Mark ; Wilkinson, Frances C. The Academic Library Impact on Student Persistence. *College & Research Libraries*. Vol.72 No.2, 2011. p.128-149.

米国ケント州立大学図書館

- 図書館の深夜開館を利用している学生とその学業の成績 (student success) は結びつくだろうか？
 - 図書館の深夜開館を利用している学部学生 (4,688人) や大学院生 (207人) と学部学生や大学院生全体の間には, GPAについて統計上, 有意な差が見られなかった。
 - 図書館の深夜開館を利用している学部学生や大学院生と学部学生や大学院生全体の間には, **在籍率 (retention rates) について深夜開館利用者の方が高い**, という統計上, 著しく有意な差が見られた。

ミネソタ大学ツインシティー校図書館

- 図書館サービスを利用した1年次学生と利用しない1年次学生の間には学業成績等に違いがあるか？
 - 2011年秋学期の利用統計に基づき分析すると以下の結果が示唆された。
 - 図書館を利用した1年次学生(3,804人)は、利用しなかった学生(1,514人)に比べて、第1セメスターの **GPAの数値が高い。**
 - 図書館を利用した1年次学生は、利用しなかった学生に比べて、秋学期から春学期にかけての **在籍率が高い。**

出典：Soria, K.M. , Fransen, J. , Nackerud, S. Library Use and Undergraduate Student Outcomes. *Portal: Libraries and the Academy*, Vol.13 No.2, 2013. p.131-145.

香港浸会大学

- 学生の図書館資料利用と累積GPA (Grade Point Average) に数学的相関があるか?
 - 2007年から2008年の卒業生の8,701組のデータを対象にして香港浸会大学 (Hong Kong Baptist University) 図書館で分析を行った。
 - **学生の学習成果に図書館資料の利用がインパクトを与えていることを示すことができた。**

出典: Shun Han, Rebekah Wong; Webb. T.D. Uncovering Meaningful Correlation between Student Academic Performance and Library Material Usage. *College & Research Libraries*. Vol.72 No.4, 2011. p.361-370.

まとめ

- 高等教育における図書館利用と学部学生の成績の相関についての研究が最近発表されている。
- データ間の相関について統計的分析を行う研究が多い。
- 図書館における電子リソースの利用についてもようやく考慮されつつある。
- 学習成果に関するデータを扱う場合、データの入手や処理方法や個人情報への配慮等が課題となっている。

参考文献

- Oakleaf, Megan. *The Value of Academic Libraries*. ACRL, 2010.
http://www.ala.org/acrl/sites/ala.org.acrl/files/content/issues/value/val_report.pdf
- *The Value of Libraries for Research and Researcher*. RIN/RLUK, March 2011.
http://www.rluk.ac.uk/files/Value%20of%20Libraries%20TG_0.pdf
- Poll, Roswitha. *Assessing Library Impact.*, 2012.
In Biblioteche: valore e valori, Roma (Italy), 21 May 2012.
(Unpublished) [Presentation]
[http://eprints.rclis.org/17297/1/Assessing%20library%20impact%20\(Rom\).pdf](http://eprints.rclis.org/17297/1/Assessing%20library%20impact%20(Rom).pdf)
- Markless, Sharon; Streatfield, David. *Evaluating the Impact of Your Library*. 2nd ed.
Facet Publishing, 2013.